

# 輸入牧草用ラップの効果確認試験

JAオホーツクはまなす

長澤 公一



①グラスウインド仕上げり 9月3日撮影



②グラスウインド開封後 密着感良好 9月3日撮影



③グラスウインド開封 12月13日撮影



④大ちゃんWrap(片方ヤンマーラップ)開封 12月13日撮影



⑤ファームパール(国産品)開封 12月13日撮影

## 試験目的

輸入牧草用ラップの実証試験 現地適合性の確認

## 試験作物 及び品種

牧草(品種 2番草)

## 試験資材 及び数量(規格)

グラスウインド(0.025mm×500cm×1800m) 白 4本

## 慣行資材

GRASSWRAP(輸入品)、大ちゃんWrap(輸入品)

## 資材使用期間

8月~10月

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

巻き方は4層巻で設定しており、2本で20巻程度巻くことができ、慣行との差はなかった。

カッティングバーから外れてしまうことが3回ほどあったが、暑い日では切れやすく、慣行も同様とのことであった。

糊は試験品の方が優れており、仕上げりの密着感が良かった。

### (2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：慣行品・試験品共にカビの発生などは特に見受けられなかった。

### (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

巻き作業中の強度は問題なかった。

2番牧草で同時期に巻いたもの同士で比較すると、慣行品はフィルムの光沢が失われているように見え、試験品の方が耐候性が優れていると感じられた。

また同様に糊の強度も試験品の方が残っており、慣行品は密着感が低下していた。

越冬をさせ、強度を今後も経過観察する。

## モニター感想

暑い日だと切れてしまうことがあったが、慣行品と同じ頻度であったため、問題はなかった。糊の強さは試験品が優れているように感じ、巻いた後の密着感がよかった。使用感としては全く問題ないと思われる。

国産品の方が品質面での安心感はあるが、価格の観点から今後も輸入品を使用していきたいと思うので、試験品の価格を見て今後の使用を検討していきたい。

## JA担当者の感想(平石 氏)

これまで国産品を主力として取り扱ってきたが、営農のコスト削減が求められていることから安価な輸入品の試験を行った。

作業性、強度共に大きな問題は感じられなかったため、今後の普及拡大を図っていきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

慣行品と比べて問題は無く、密着感は優れていた。価格差が無ければ使用したい。

## 将来希望する資材について

カラス除けができるラップフィルム。

分解し廃プラ費用がかからないラップフィルム。

1 養分フィルム

2 敷設フィルム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 酪農資材

9 ICT機器

10 その他